

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2023年1月26日(月)
NO. 1344号
本号3頁

憲法会議は呼びかけます。「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」運動を成功させよう!

憲法会議は12月13日に「憲法を壊し、戦争を呼び込む安保関連3文書に断固反対、閣議決定などするな!」との声明を発し。そして新年早々の1月6日は改めて「平和か戦争かが問われる2023年、安保関連3文書閣議決定撤回、大軍拡・大増税・改憲阻止、岸田政権打倒の大運動を呼びかけます」との声明を出し、防衛戦略の基本的姿勢としてきた「専守防衛」を根本的に転換させ「戦争する国」へと、憲法9条とは真逆な方向に転換させる、安保戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の安保関連3文書を閣議決定するな、そして閣議決定されてからは撤回せよとたたかおうと呼びかけました。

声明では、安保関連3文書で掲げた敵基地攻撃能力を保有することは明確な憲法・国際法違反の「先制攻撃」にも道をひらくもので、全面戦争の危険性もあり、戦争を呼び込むものだと、その危険性を指摘して来ました。

さらに、これらの文書に「平和外交」の記述はないと指摘し、軍拡では他国との緊張を高め、更なる軍拡の連鎖を生むことになり、軍拡で平和な世界を築くことはできない、憲法9条を持つ国として徹底した平和外交に取り組むべきだと主張。

さらに、財源問題で、東日本大震災の「復興特別所得税」を充てることなどとんでもない。物価高で苦しむ国民に「軍事費のための増税」を押し付けることは、憲法第25条の国民の「生活権」を侵害するものであり、許されませんとも主張して来ました。

日米首脳会談で、バイデン大統領は安保関連3文書による防衛政策の大転換を大歓迎。バイデン政権は外交・安保政策で同盟国との連携を重視し、特に中国を「国際秩序を塗り替える意図と能力を持つ唯一の競争相手」と位置づけ、日本に安保面での協力強化を求めてきました。それに岸田政権が、まるで「ポチ」のように応えたからです。

立憲主義破壊、歴史軽視、米軍従属、国民生活破壊、いずれをとっても、岸田首相は安倍元首相のはるか上を行っています。亡国の首相のやりたい放題を看過すれば、歴史を繰り返すことになり

ます。危険な防衛戦略の大転換に、閣議決定の撤回、大軍拡反対、大増税反対の運動が広がっています。1月23日には「平和、いのち、暮らし、地域をこわす戦争準備の大軍拡、大増税NO!連絡会」(大軍拡NO!連絡会)が結成され、「大軍拡・大増税NO!連絡会」は「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」(ネット署名・資料 署名用紙)の取り組み、9の日行動等と一体の大宣伝行動などの運動を全国に呼びかけました。

憲法講座で「安保三文書と日本の安全保障」とのテーマで瀬藤氏講演

憲法会議は、2月25日には「2023年春の憲法講座」を開催し、瀬藤厚山口大学名誉教授に「安保三文書と日本の安全保障」とのテーマで講演(資料 チラシ)していただき、その日の午後には憲法会議の第58回全国総会を開催し、大軍拡、大増税、改憲阻止。そして岸田政権打倒のたたかいについて意思統一します。

21日、22日のANNの世論調査、岸田内閣の支持率が政権発足以来、最も低い28.1%になった。岸田政権を打倒し、大軍拡、大増税、そして憲法改正を阻止する絶好

のチャンスです。そのためには、一斉地方選挙で勝利する事、そして「大軍拡NO連絡会」の運動を全国に広めにひろめ、たたかうことです。皆さん、ともに頑張りましょう。



2023年 月

衆議院議長 様
参議院議長 様

平和、いのち、くらしを壊す 大軍拡、大增税に反対する請願署名

請願の趣旨

いま日本は、「戦争か平和か」の歴史的岐路に立っています。

政府は、2022年年末に「安保関連3文書(国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画)」の改定を閣議決定しました。他国に直接の脅威を与え、先制攻撃も可能な「軍隊と武器」(敵基地攻撃能力)を持つとするものです。2015年の安保法制での「戦争国家づくり」を実践するもので、専守防衛をふみにじる憲法違反です。

政府は、「専守防衛」に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にならず」といいます。しかし、世界第3位の軍事大国になり、他国攻撃ができる長距離ミサイルを持つことが、周辺国の不信をあとおり、脅威をあたえ、軍拡競争を過熱させることは明らかです。安保法制を実行して敵基地等を攻撃すれば、日本が攻撃されていなくても他国を攻撃することになり、相手の報復攻撃をまねき日本が戦場になりかねません。

政府は、軍事費について2027年度までの5年間の総額を43兆円とし、27年度にはGDP(国内総生産)比で2%と現在の2倍にするとしています。財源確保のために大增税と国債発行を行うとしており、くらしを直撃します。軍事費増で、いまでも不十分な教育費や社会保障費への国の支出が減りかねません。これらの結果、くらしも経済も立ちいかなくなることは戦前の歴史が示しています。

不確実性が高まる国際情勢のもとで、憲法9条を持つ国としていま行うべきは「戦争の準備」ではなく、対話と外交によって「戦争をさける努力」です。それこそ政治の責任です。

この国のあり方を根本からくつがえし、くらしを壊す大軍拡を開かれた論議もなしに閣議決定ですすめたことは民主主義、立憲主義に反しています。

以上のことから、以下のことの実現を求めます。

請願項目

- 平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、大增税はやめてください。
- 大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改定を撤回してください。

氏名	住所 <small>(〇〇県△△市□□町)丁目2-3 ←所在地までお書きください</small>
	都 道
	市 町
	番 地
	都 道
	市 町
	番 地
	都 道
	市 町
	番 地

*名前(姓)や住所を「同上」のように省略せずに記入してください。 *この署名は、個人情報保護法に基づき目的以外には使用しません

平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大增税NO!連絡会 **取り扱い団体** ()

【連絡先】 憲法共同センター 〒113-8462文京区湯島2-4-4 平和と労働センター4F TEL03-5842-5611

※署名用紙は、憲法共同センターのホームページからダウンロードしてください。

岸田首相、憲法改正「先送りできない」 衆院代表質問

岸田首相は26日の衆院本会議の代表質問で、憲法改正に意欲を示しました。日本維新の会・馬場伸幸代表が、「憲法改正について衆参両院の憲法審査会が足並みをそろえ、改憲項目を絞った上で国民投票をいつ実施するか。国会発議に向けて意見集約を加速させるべきだ」と質問。

これに岸田首相は「私自身が（自民）総裁選などを通じ、任期中に憲法改正を実現したいということは申し上げてきた。憲法改正は先送りできない課題であり、こうした考えにいささかの変わりもない。首相の立場から憲法改正議論の進め方や内容について直接申し上げることは控えなければならないが、憲法改正は最終的に国民の判断が必要であり、与野党の枠を超えてさらに積極的な議論を期待したい」と答弁しました。

岸田首相は1月1日付けの「読売」インタビューで自民党総裁の任期終了（2024年9月）までに「憲法改正を実現したい考えにいささかの変わりもありません」と表明。同日付の「産経」の対談では、9条への自衛隊明記や緊急事態条項創設などの改憲は「極めて現代的な課題」であり「改憲の最優先事項」と語り、改憲へ意欲を示していました。

各地のとくくみ

埼玉 埼玉高校障害児学校教職員九条の会「2022年度総会・学習会」開催

埼玉高校・障害児学校教職員「九条の会」は1月29日、埼玉教育会館で「2022年度総会・学習会」を開催しました。

総会では冒頭、埼玉県高等学校教職員組合の中央執行委員として高校・障害児学校の教育の充実と子どもたちの教育条件の整備・充実を求め奮闘され、今回退職し、4月の埼玉県議選で川口市の選挙区で、日本共産党から立候補される山崎すなおさん(38歳)があいさつしました。山崎氏は「子どもを守るのが学校、子どもたちが学び・成長できる学校の教育条件の整備・充実等に奮闘したい。また、平和を守ることが一番。憲法を守り・いかすために、軍事対軍事ではなく平和外交に徹するような政治に転換させていきたい」等と、県議選への決意を述べました。

議長選出後、小沢道夫代表世話人・事務局長が経過報告・活動方針を提起しました。小沢氏は、①岸田内閣や改憲勢力を包囲するため、職場・地域の草の根からの改憲反対の世論づくり、明文・解釈両面からの改憲攻撃について学習と話し合いを行います。②「九条の会」の輪をもっともっと大きくし、ゆるぎない改憲反対の多数派を形成します。③交流集会を開き、お互いの経験に学び励まし合います。④「戦争法」「安保関連3文書」による「戦争する国づくり」に反対する諸行動に参加します。と4点の活動方針。そして、当面の行動として、2月11日の2・11集会、5月3日の憲法集会(北浦和公園)、6月4日のオール埼玉総行動への参加。さらに国会要請・9、19日行動等の各種集会への参加、「平和、いのち、暮らしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」に全力でとりくむことなどを提案しました。

意見交流では、3名が発言。「盲学校九条の会」の代表は、「国会行動が大好きで参加している、もっと多くの仲間と参加したい。先日の集会で地元選出の国会議員への要請行動の大切を学んだ。埼玉選出の国会議員への要請等にも取り組みたい」と語りました。もう一人の同会の女性は、盲学校の生徒が戦争中に兵隊さんから飴玉をもらおうと並んでいたら、自分だけもらえず、「僕にも頂戴」と言ったら、「お前はめくらだから、お国のためにならん」と飴玉をくれなかったとの話を語り、また生徒らが親にお願いし、沖縄を訪問し、懸命に点字で記録を取るなど平和について学んだ話を語り、大軍拡の危険な時であり、憲法を守りいかに平和な社会実現を目指し奮闘したいと語りました。また、元高校の教師の女性は、「地元の上尾で共同センターの仲間と9の日宣伝行動などに取り組んでいる。それらの行動には3野党が来てくれる。今後も地元で憲法を守る行動に奮闘したい」と語りました。

総会終了後に、同会の会員でもある憲法会議事務局長の高橋信一が「草の根からの共同・共闘を広げ、大軍拡、大増税、改憲を阻止しよう」とのテーマで、講演しました。